

vol.10

今月の 語り かける土

Pickup Artist



練彩大鉢

この作家の形態感覚の冴えには感心させられてきた。この練彩大鉢は形態の冴えはもとより練り上げの加飾も美しい。これは異なる色の磁土を轆轤で成形しながら混成させる練り上げによるのだが、不思議なことに見込みは口縁以外白く、練り上げの模様がない。これは内側に施釉や化粧をしたわけではなく、色土と白土をおよそ二分八分に調整し習熟した轆轤の技だけでできるのだという。にわかには得心し難いが、これも手技の冴えである。



伊藤 秀人

(多治見市美濃焼ミュージアム所長 渡部誠一)

※本連載では、国内外で活躍する多治見市ゆかりの陶芸作家と作品を紹介します